

「絆」～勝利の心に火をつけて、全力でいどめ～
西根小学校大運動会が青空のもと開催。全校児童139名が赤組、白組に分かれ放課後も応援練習等を行い、この日のためにみんなで精一杯力を合わせてきました。堂々の入場行進に保護者・地域の皆さんからグラウンドに響き渡る拍手がさいをいただきました。
西根児童センターでも園庭一杯にたくさんの種目が繰り広げられました。(写真左下)



もくじ

9月定例会の概要、平成27年度決算	2
一般質問	5
バイオマス発電所が建設へ	10
決算特別委員会総括質疑	11

予算特別委員会総括質疑	12
常任委員会活動報告	14
人事・請願・意見書	15
市民と議員との意見交換会を開催します	16

9 月 定例会

平成 27 年度 決 算

まちづくり総額210億円を

未来への投資を評価



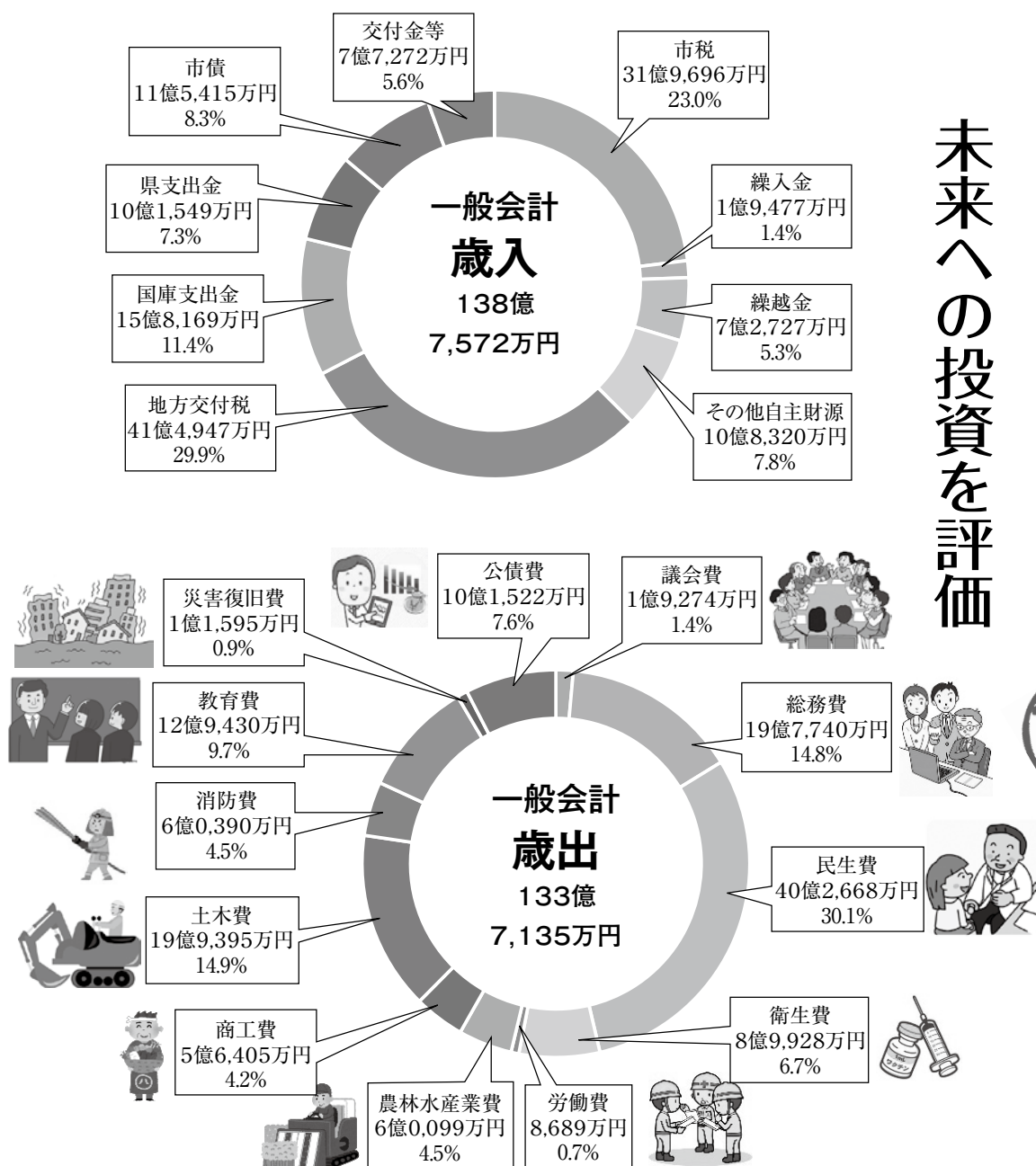
9月定例会は9月1日から29日までの29日間の会
期で開催されました。

平成27年度一般会計及び特別会計、企業会計、西
置賜地区視聴覚教育協議会決算の認定ほか、報告2
件、一般議案9件、補正予算11件、請願1件につい
て審議を行い、最終日に追加提案された補正予算2
件、教育委員会委員・市政功労者の人事案件5件、
議案案（意見書提出）1件とともに、すべての議案
が原案とおり可決されました。

なお、一般質問には11名の議員、決算総括質疑に
は4名の委員、予算総括質疑には6名の委員が質問
に立ち、当局の考えをただしました。

一般会計と特別会計を合わせた**総計決算額**
は、歳入217億4361万円、歳出210億
8673万円で、差引残額から翌年度へ繰
り越すべき財源を差し引いた**実質収支額は、**
6億4372万円の黒字となっています。

一般会計の歳入総額は、138億7572万
円で前年度対比7億4284万円（5.1%）
減少、歳出総額は133億7135万円で前年
度対比5億1994万円（3.7%）減少とな
り、差引残額から翌年度へ繰り越すべき財源
を差し引いた実質収支額は、4億9122万
円の黒字となっています。



~~~~~ このように使われた市のお金 ~~~~~

平成 27 年度は、平成 26 年度から 10 年間のまちづくりの指針となる長井市第五次総合計画が策定されて 2 年目の年でした。『みんなで創る しあわせに暮らせるまち 長井』の実現に向け、「中心市街地活性化」の核となる観光交流センターの建設が始まりました。また、豊田小体育館大規模改修工事のほか空調設備整備関連事業など、未来を担う子供たちの教育環境の充実を図りました。

使われたお金を性質別に見てみると、

人件費	20 億 8,766 万円	人事院勧告等に伴い 7,417 万円増加（対前年度比 以下同じ）。
物件費	17 億 3,588 万円	ふるさと納税事業費の増加等により 9,832 万円増加。
補助費等	17 億 7,556 万円	西置賜行政組合分担金の増加等により 1 億 5,977 万円増加。
維持補修費	3 億 2,518 万円	道路除雪経費の減少等により 3 億 3,869 万円減少。
投資的経費	18 億 1,882 万円	西根、豊田小学校の大規模改修工事、定住促進住宅整備事業、生涯学習プラザ運動公園整備事業の皆減等により 6 億 8,986 万円減少。

一般会計

会計の中心となる社会福祉、教育、保健衛生、道路や学校施設などの建設や維持管理を行う会計。

特別会計

特定の事業を行う場合に、その経理を一般会計から明確に分けるために設置する特別の会計。

企業会計 (水道事業会計)

水道事業の使用料金の収益により、その経費をまかなう独立採算を原則とする特別の会計。

財政調整基金

通常は決算の剰余金を積み立て、財源が不足した年度に使用する貯金のようなもの。

地方交付税

地方公共団体間の経済格差を少なくするために交付される地方公共団体が自由に使える財源のこと。

国庫支出金

特定の目的のために使われる補助金で、決められた目的以外に利用することができない財源のこと。

議会費



議会運営や議会だよりの発行などに使ったお金。

総務費



地域づくりや国際交流、広報広聴などに使ったお金。

民生費



子供や高齢者、障がい者などの福祉に使ったお金。

衛生費



保健衛生やごみ処理などに使ったお金。

労働費



勤労者への貸付や保証などに使ったお金。

農林水産業費



農産物の生産振興や農地保全、山村振興などに使ったお金。

商工費



商工振興や観光物産の活性化などに使ったお金。

土木費



道路や街路、橋の整備などに使ったお金。

消防費



消防団の運営や防災資器材の整備などに使ったお金。

教育費



学校や公民館施設の運営、文化・スポーツ振興などに使ったお金。

災害復旧費



台風や水害などの被害の復旧に使ったお金。

公債費



これまでに市で借り入れたお金の返済に充てたお金。

平成 27 年度末の市債（借入金）と基金（積立金）の状況

※人口は、平成 28 年 3 月末人口：27,515 人

項 目	金 額 (万円未満四捨五入)	備 考 (円未満四捨五入)
市債残高（借入金・市が借りたお金）※一般会計分	117 億 8,286 万円	市民一人あたり 42 万 8,234 円
基金残高（積立金・市が貯金したお金）※財政調整基金他	18 億 6,798 万円	市民一人あたり 6 万 7,890 円

9月定例会の焦点

本会議の討論

平成27年度決算

賛成多数で認定

反対討論 今泉春江議員

医療、介護、年金などの社会保障がますます悪くなり、雇用も農業も不安定で、商売や暮らしは厳しく、市民は悲鳴を上げている。その中で、差し押さえが793件も行われている。相談収納に徹底して取り組むべきである。国民健康保険では、資格証交付が95人、短期証交付が91人で、健康と命に関わる問題が起きている。また、特別養護老人ホームの待機者が147人と報告され、待機者問題もなかなか解消できていない。

さらに、宅地開発事業特別会計では、必要もないのに宅建業者に宅地売買業務を委任し、6%の手数料が支払われている問題であり反対である。

賛成討論 平進介議員

市債現在高は、201億2783万円で、前年度比4億7750万円の減少である。実質収支比率は、6.3%と近年

6%台になっており、できる限りいい行政運営を図ろうという姿勢が伺える。經常収支比率は93.9%と高い数値だが、全国の特人口規模の小さな自治体ほど高い傾向にある。実質公債費比率は、平成21年度以降順調に下がり、将来負担比率も同様である。

平成28年度

一般会計補正予算

賛成多数で認定

反対討論 今泉春江議員

市長車が8年目で走行距離が10万キロを超えたため、605万3千円で市長車を新しく購入し、現在の市長車を公用車として使用したいと提案された。しかし、最近の乗用車は、20万キロは走行できる。月10万円台で暮らしている市民が大勢いるが、この金額は市民感情から考えて適正な

か。公用車が不足しているならば、この予算で公用車を2台購入することが可能であり、そうするのが適切ではないのか。こうした点を慎重に検討し、来年度の当初予算で考えるなど再検討していただきたいと思うので、市長車購入予算に反対する。

賛成討論 平進介議員

この補正は、当初予算で財政調整基金から取り崩した5億4000万円を全額繰り戻し、10億円の残高を確保することや公共施設整備基金に2億9920万円を積み立て、残高を5億円とすることなど今後の複合施設整備等に向け財政規律の向上を図る極めて重要な予算である。さらに、土砂災害特別警戒区域内にある草岡のため池を撤去するための測量業務委託料等が計上されており、市民生活の基盤を支える重要な補正である。市長車の更新は、公用車が不足する中で副市長や教育長が出張する際の車両等として使い回しをするためというものであり、賛成する。

■9月定例会で審議した主な議案（条例）

- ・観光交流センター条例の設定（名称や使用の許可、制限、料金、管理などについて規定）
- ・市営バス設置及び管理に関する条例の一部改正
（市営バスの利便性を図るため回数券と乗車券の料金を引き下げるもの）
- ・山形鉄道運営助成基金条例の一部改正
（「上下分離方式」に伴い山形鉄道㈱への財政支援方法を変更するもの）
- ・すみれ学園設置条例の一部改正（花作町から旧清水保育園に移転するもの）

平成28年9月定例会議案等に対する賛否一覧表 (下記以外については全会一致で可決されています)

議案等名	議席番号 議員氏名	議決 結果	賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
					宇津木正紀	浅野敏明	金子豊美	内谷邦彦	平進介	鈴木富美子	渡部秀樹	今泉春江	梅津善之	赤間泰広	小関秀一	五十嵐智洋	蒲生光男	安部義隆	町田義昭	渋谷佐輔
認 第 1 号 平成27年度歳入歳出決算認定について		認定	12	1	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠	○	／
議案第59号 平成28年度一般会計補正予算第5号		原案可決	12	1	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠	○	／

※ 賛否が分かれたものについて掲載しています。○は賛成、●は反対、欠は欠席 議長（渋谷佐輔）は採決に加わらない。

★平成28年9月定例会に提出されたすべての議案等の議決結果は市議会のホームページに掲載しています。



浅野 敏明

公共施設等総合管理計画
および固定資産台帳整備
について

弁 答
公共施設整備を行う
のは今しかない

Q. 公共施設全体を把握し、長期的視点で更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するため、公共施設等総合管理計画策定が義務付けられています。このたび示された長井市公共施設等整備計画案では、市庁舎、学校給食共同調理場、市民文化会館、公共複合施設等の整備が10年以内とされています。いずれも10億円を超える大規模な事業で、15年以上の計画とすべきではないですか。

A. 今後の人口減少に伴い、予算規模が小さくなった場合には、大きな事業を行うことは難しくなると思います。また、人口が減り続け、3市5町での合併ということになれば、長井市中心での公共施設整備は不可能となります。施設整備をやるのは、今しかないと考えています。

Q. 従来の公有財産台帳と違う、取得価格、減価償却額、帳簿価格や再調達価格を主眼とする固定資産台帳の整備はどの程度進んでいますか。また、老朽化が著しいコンポストセンターは、再生可能エネルギーとの組み合わせで更新すべきと思いますが、今後の長寿命化計画を伺います。

A. 市の土地や建物等施設にかかる固定資産台帳の整備については、昨年度から作成業務を委託し、今年度で整備を完了する予定です。コンポストセンターについては、レインボープラン関係者に学識経験者などを加え、今後の在り方を検討していきたいと考えています。



老朽化している学校給食共同調理場



長井市へのホストタウン誘致は



内谷 邦彦

ホストタウン誘致
事業について

弁 答
他団体と一体となり
誘致を行う

Q. ホストタウン誘致事業について、今回第一次、第二次ではなく第三次登録申請を行う理由はなぜですか。

「長井市を世界に発信する」ということですが、日本各地でホストタウンとして活動した場合、長井市が埋没してしまう可能性はないのですか。

国との交流も大事ですが、文部科学省や経済産業省などの各種支援事業を利用し、長井市をよくすることを考えてはいいがですか。

A. 相手国等との協議も必要

であり、第三次となったものです。また、他団体と一体になり、単独より目立つような活動を行ってまいります。

ホストタウンになることは、市民一人一人が、「私たちもオリンピック・パラリンピックに関わっている」という、意識向上にも結び付くものです。

Q. 新しい人の流れをつくる取り組みについて、現在試算した場合、若者の移住者が年間何人だと人口減少が緩やかになるのか、目標値はあるのですか。

移住者が年間1000人を超えている、岡山県や鳥取県の取り組みを調査したことがあります。参考になる施策があるのではないですか。

A. 総合戦略の中では、31年度の転入者の目標値を700人としています。27年度は652人でしたので、あと50人程度の転入者が必要になります。若い人たちに移住いただくため、天然水100%の子育てライフを掲げ、他自治体の例も参考にして、移住促進策に取り組みます。



宇津木正紀

障がい福祉施設の 受注を増やす支援は

弁 製品の受注拡大等に
答 向けPRを行う

Q: 障がい福祉施設の作業が少なく、作業工賃が上がらず苦慮しています。受注が増えるようにできないですか。作業の掘り起こしや、PRなどして、市民から作業依頼の協力を得られるように、市で支援することはできないですか。

A: ハローワーク・県等の関係機関と連携し、自主製品の販路・受注拡大、普及広報等を推進し、市のホームページを活用して広報してまいります。

Q: 6次産業化推進事業の補

助は、過去の実績やあらゆる可能性への支援をした方が柔軟な対応ができると思います。事業者のやる気を引き出すこと、情報提供、事業者と関連業者をつなぐこと、資金調達が大事だと思います。これからの方向性、仕組みを伺います。

A: 今年度は、6次産業化推進協議会の専門家を招いた勉強会や活動発表会等を補助します。これにより事業者間の情報共有や連携を進めます。開発資金等は、使い勝手のよい補助金を別に検討します。

Q: 本市の災害時の仮設住宅建設候補地は、置賜生涯学習プラザ運動公園の1か所としています。国や県で示している仮設住宅建設地の選定条件、必要戸数と仮設住宅の標準的な住戸数、仮設面積はどうですか。

A: 選定条件は、まとまった土地で原則公共用地であることなど7項目あります。標準的な住戸数および必要戸数は、想定全壊棟数の20%の400戸となります。仮設面積は2万㎡超と想定しています。



葉山山荘のトイレ



障がい福祉施設での作業



平 進介

葉山山荘に バイオトイレ設置を

弁 白鷹町および関係者
答 との協力が必要

Q: 今年から8月11日は国民の祝日「山の日」となり、県では「やまがた百名山」を公募し、第一次選定50山を公表。その中に祝瓶山と置賜葉山が入りました。魅力ある山岳観光として、今後女性客を含め数多くの登山客が訪れます。所在市町の負担で整備した白鷹山バイオトイレのように、整備が必要な葉山山荘のトイレについて、所在市町の協議の場を設けてはいかがですか。

A: 葉山山荘のトイレは、とても老朽化が進んでいると聞

いています。白鷹町の協力がいただければ、管理している山岳関係者の皆様や土地所有者の方とも協議が必要であると思いますので、女性や子供、お年寄りも使いやすいトイレを設置していただければと思います。

Q: 時代の変遷や高齢化により、生活様式も変わり、トイレも洋式化となってきました。多くの市民が利用する社会教育施設、特に3階建ての市民文化会館の2、3階のトイレの一部を手すり付きの洋式に改修し、足腰や膝の故障でしゃがんだり座ったりがきつい方でも用が足せるよう、必要最小限の改善策で切実な願いに応えてはいかがですか。

A: 市民文化会館は、長井市公共施設等整備計画案の中で、老朽化対策が必要な施設の一つであり、来年度にも耐震診断を実施したいと考えています。市民の方々からさまざまなお声をいただいていますので、指定管理者や長井文化協会と協議をしていかなければならないと考えています。

Q. ホストタウン誘致で、本市と姉妹都市であるバートゼッキングン市のあるドイツを選ばなかった理由はなぜですか。また、この事業を行った場合、国際交流事業やインバウンドにどのように活かしていくのですか。

A. スポーツ強豪国の誘致には、世界大会の合宿地など、相応の交流実績が必要とされるため、ドイツは検討中です。また、数多くの外国人が来日されることから、長井を広く広報してまいります。

弁 答
多数の外国人の来日に
備え長井をPRする

ホストタウン誘致事業に
何を期待するのか



鈴木富美子

Q. いよいよ商品化されるベビーボックスですが、その中にはどんなものが入るのですか。29年4月までに間に合うのですか。ベビーボックスを全国にPRするために、どのような手立てを考えていますか。

また、地域おこし協力隊の任期満了後の定住・定着をどのように支援するのですか。

A. ベビーボックスは、29年4月から贈ることができるように、長井オリジナルの内容を検討中で、インターネットなどによりPRします。また、地域おこし協力隊定住起業支援補助金などで支援します。

Q. 花観光後の旅行商品に、長井ダム工事現場事務所跡地利用や、長井ダム周辺の観光を考えてはどうですか。また、遊覧船の女性の船頭さんのデビューはいつからなのですか。

A. 跡地利用は、地元やNPOなど、関係の皆様と相談してまいります。団体客対応の遊覧船を来年度に実施できるよう検討して、船頭についても準備を進めます。



地域教育のあるべき姿は



三淵渓谷のボート遊覧

Q. 市の人口減少率は厳しく、歯止めをかけるには、若い世代に対する安定した雇用場のづくり、子育てに対するハード、ソフト面の支援等を強化する必要があります。

市長、副市長、教育長の退職金を50%、議員報酬を20%削減すれば年間2千万円以上の財源が生まれます。これを、若い世代に対する支援に特化した政策の予算に充て継続することを提案します。

A. 財源を特別職の退職金や議員報酬のカットに求めるの

弁 答
政策論議を行って
財源を確保すべき

特別職退職金、議員報酬
削減で若者支援の財源に



五十嵐智洋

ではなく、議会ともしっかりと政策論議を行って財源を確保すべきと思います。そのうえで、社会福祉協議会の保育士の待遇改善など、安定した雇用の場の創設策に予算を配分していくことが必要と考えられています。

Q. 教育長と教育委員長の「長二人」が存在し、責任の所在があいまいだったものが、新制度で教育長に一本化されわかりやすくなりました。

任命権は自治体の長になり、首長の教育に対する権限が拡大されましたが、地域教育のあるべき姿は、市長の施政方針に盛り込むのではなく、教育長自らが中心となり、方針を発表すべきです。

A. 教育施策については、「命を育み長井の心を未来につなぐまち」をテーマとし、「長井市教育振興計画」をもとに進めているところです。教育方針の発表については、市長部局と調整を図りつつ、教育委員会での在り方を協議してまいります。



小関 秀一

高齢者と子育ての支援 充実で「福祉のまち」を

弁 答
今後も支援の充実に
努める

Q. 出産育児一時金は、国保から42万円が医療機関へ直接支払われる制度が確立し、本人負担が軽減されていますが、例えば、置賜総合病院の普通分娩の費用は約50万円であり、この差額に市として上乗せ支援、出産祝い金等の支援はできないか伺います。

A. 長井市国保運営協議会では、出産育児一時金について既に2月から検討しています。年度途中からの改正は年度内に不平等が生まれますので、来年度当初から実施する方向

で議論が進んでいます。

Q. 高齢者が心身ともに健康で暮らせる地域づくりの一環として、市内31か所、1608会員、年間延べ約5万人の方がミニデイサービスを利用していています。支援者のご苦労に感謝いたしますが、手続きの簡素化や行政支援の充実等、来春からでも改善を検討すべきと思いますがいかがですか。

A. 手続きについては、今後も皆様の声をお聞きしながら簡略化に努めます。行政支援については、講師派遣メニューの紹介や研修会の開催などで、ミニデイサービス活動に活かしていただいております。

Q. 「菜なポート」は3年の実験期間を経て、道の駅開設まで行政が直売事業の支援を行いますが、来春からの菜なポート機能の見直し、現在の跡地利用について伺います。

A. 菜なポート跡地に入って農産物を販売したいという団体もお聞きしています。タウンセンターとの絡みもありますが、入居を希望する団体があれば相談してまいります。



生涯学習の一環に民具の活用を



年間延べ5万人が利用するミニデイサービス



金子 豊美

長井市教育振興計画 の推進について

弁 答
新しい要素を盛り込み
諸施策を展開する

Q. 市の第五次総合計画の将来像「みんなで創るしあわせに暮らせるまち長井」を目指し、学校教育と生涯学習、生涯スポーツが連携し、人と人とのつながりや絆、コミュニティづくりをとおして、生涯にわたって社会を支え、幸せを実感できる子供たち、社会人を育てていくために「いのちを育み『長井の心』を未来につなぐまち」を教育目標とした長井市教育振興計画の今後の取り組みについて、教育長の所信をお伺いします。

A. 計画策定後、3年目を迎えています。学校教育・生涯学習・生涯スポーツの3分野における教育振興計画の進捗状況は、順調に進んでおります。今後もこの計画をベースとして、さらに時代の変化を捉えた新しい要素を盛り込みつつ力強く施策を展開してまいります。

Q. 台風10号が東北地方を襲った際、前日に被害を想定し対応した市町村もあったとお聞きしていますが、長井市の児童センター園児や小学生の退園、退校について、保護者への連絡時間や説明など、対応は十分だったのかお伺いします。

A. 若干連絡が遅れた学校もありましたが、一部の児童を保護者が迎えに来るまで学校にとどめるなどして対応し、大きな混乱はありませんでした。また、学童クラブは休業としていましたが、利用できるように当日対応し、結果3名のお子さんに利用いただきました。庁内の横の連携について反省すべき点がありました。

Q. 市民憲章と平和都市宣言は「平和な美しいまちを築く」ため、市民に実践と具現を義務づけています。市が次のような平和宣言事業を行うよう提案します。①市民や平和団体などの意見を活かし、平和を守る創意ある事業を企画する。②毎年の8月号市報で平和特集を行う。③原爆投下や終戦記念日に市内の寺に梵鐘をつく呼びかけを。④小中学校で記念日の黙祷や戦争体験の話を聞くなど平和行事や平和教育を行う。

弁 何ができるか

答 検討していきたい

安保法発動のいま、平和都市宣言を生かす事業が必要



今泉 春江

A. 昭和53年に長井市民憲章、平成6年に平和都市宣言を行いました。原爆投下や全国戦没者追悼式の8月15日には、市庁舎に半旗を掲げ1分間の黙祷を行っています。平成10年まではほかの事業も行っていました。何ができるか検討します。市報も平和に関する特集を組むことを考えています。

学校では国語や社会の授業で戦争の悲惨などを学ぶ機会があり、命を大切にするのと、平和の尊さを子供たちと一緒に考えたいと思います。

Q. ふらり体育館の雨漏りと窓枠などの改修整備を緊急に行う必要があります。

A. 28年度は状況調査とシーリング材で修繕を行います。

Q. 少子化対策として子育て世代の負担軽減を図り、疾病の早期診断、治療のため医療費助成を現在の中学3年までを18歳までに拡大してはいかがですか。白鷹町、飯豊町、小国町では実現しています。

A. 町は過疎債でできます。財政状況を見ながら考えます。



置賜いきものふれあい広場



平和推進事業の取り組みを

Q. いきもの河川公園は、約10団体、160名の市民の方々に利用されていますが、管理が全くなっていないとお叱りの声と、適切な管理を望む切実な声が寄せられました。

河川公園の管理基準はあるのか、高齢者の健康維持と介護予防に関連して、各課それぞれ連携して支援できないか、高齢者福祉における複合施設の今後の方向性についても併せて伺います。

A. いきもの河川公園は、県

弁 利用団体と市の協働

答 により運営していく

いきものふれあい河川公園の維持管理について



赤間 泰広

と市が管理協定を結び運用しています。公園の維持管理については、今後も「野川の自然を愛する会」と市の協力連携を強化し、適切な運営を行うてまいります。複合施設は、国交省の補助メニューを活用する中で、施設の種類や配置を検討してまいります。

Q. 前立腺がんは男性特有のがんで、50歳から徐々に増加し、胃がん、大腸がん、肺がんに次いで4番目に多いがんであり、年に1回の検査の必要性が強くいわれています。早期発見、治療により最終的には医療費の縮減につながるものと思います。前立腺がん検診のさらなる充実について市長の見解を伺います。

A. 平成25年度から60歳男性を対象に検診料金の一部助成を行っています。前立腺がん検診は、50歳代から受診することが重要と考えます。今後は、助成年齢に50歳代を追加することで、受診のきっかけとしていただきたいと思います。また、助成費用についても検討いたします。



梅津 善之

西廻り幹線道路の 早期実現を

弁 答
事業採択に向け
活動を推進する

Q. 今定例会中にも、西廻り幹線道路建設期成同盟会から議長あてに要望書が提出されています。西廻り幹線道路は、国道287号線の朝夕の渋滞の解消、公立置賜総合病院を核とした救急医療、さらには防災、消防などの「命をつなぐ道」として、また、観光立国を目指す長井市は、交流人口や定住人口拡大に力を入れており、置賜地域30分構想を実現し、安心して暮らせる地域の発展を期待するという内容のものです。地域住民の思

いをどのように考えますか。

A. 地域経済の活性化、産業振興および観光立国の実現を目指す課題解決の一つとして、規格の高い道路網の整備が重要です。長井市の未来に向け、核となる道路交通網の整備がよりよきものとなるよう、地域の皆様と意思を一つにして、事業採択に向け活動を進めてまいります。

Q. 生涯学習プラザ運動公園が供用開始になり1年が経ちます。公園全体の維持管理や、芝生の管理など、当初想定された経費よりかなり過ぎていると感じますがどうですか。また、将来人工芝にする考えはあるのですか。

A. 天然芝の管理は、季節に左右され、雪解けが早いと作業も早まりますし、芝生広場に張った西洋芝は、病気に弱く、非常に手がかかります。管理レベル・方法を見直すことで、経費を削減するとともに、将来芝生広場を管理費用が安く、稼働率もよい人工芝にすることも検討します。

バイオマス発電所が建設されます

市内寺泉に長井市で誘致したバイオマス発電所が建設されます。場所は上郷公民館南西部の野川沿い。事業者は、NKCながいグリーンパワー株式会社です。発電の方式は、木材をチップにして、高温でガス化して発電する「木質バイオマスガス化発電」と言われています。村山市で稼働しているプラントと同じタイプ。平成29年6月、発電所とチップ工場が完成し、試運転する予定です。

発電規模 1,990kw

投資額 発電所 18 億円程度

チップ製造工場 3 億円程度

雇用 発電所運営10人程度、チップ製造工場3人程度



地盤整備が進む建設予定地



建設が要望されている西廻り幹線道路

燃 料 未利用材、一般木材から生産した木チップ年間2万～2万4千トン。全て自然木由来の木チップを使用。発電所隣に設立予定の木質チップ工場でチップを製造。

用 地 土地は地権者から長井市が借り受け、同社に賃貸予定。賃貸の期間は最低20年間。

そ の 他 冷却水として地下水を利用予定。空いている場所は、チップの原料となる木材置き場として利用予定。将来的に地域への熱供給を計画中。

事業者の企業概要

- ・ NKCながいグリーンパワー株式会社
- ・ 平成27年12月、本事業のための現地法人として設立
- ・ 親会社は中西金属工業株式会社（大阪府）
- ・ 関連会社にNKCむらやまソーラーパワー株式会社（村山市）※現在の所在地は、村山市だが、発電所建設に伴い、長井市に移動予定。

決算

特別委員会

総括質疑

つつじ公園の段差解消 はできるだけ早く

宇津木正紀委員 つつじ公園で、車椅子やベビーカーが楽に移動できるように段差を解消してほしいと思います。カラー舗装工事はあまりお金がかからないので、できるだけ早く着手してください。

市長 つつじ公園の段差があり危険なところは、カラー舗装工事の実施を検討します。**委員** あやめ公園の花菖蒲の背丈が低く、花も小さいところは、土の入れ替えをするべ



つつじ公園の段差の解消を

きと思います。

市長 必要なものは予算化し、対応していきます。

委員 他市で国民健康保険税の税率引き上げを検討しているところがあります。平成29年度に長井市の国民健康保険税の税率改定は必要ですか。

市長 国民健康保険特別会計において、給付基金と平成27年度繰越金を合わせて約3億3千万円の財源を保有しており、平成28・29年度も単年度赤字となったとしても歳入を確保できる見込みのため、平成29年度からの税率改定は考えていません。

おきたま野川の 環境をとり戻す

蒲生光男委員 おきたま野川の環境整備事業は、平成8年ごろに整備されました。左岸の生き物広場の方はきれいに手入れされています。しかし、右岸の方の遊歩道は、雑草が繁茂し昼でも気持ち悪い感じがします。河川敷も、雑木が覆い茂り、昔の玉石の間を流

れる美しい野川の景観の面影がありません。

治水、治安、景観の観点からも計画的に雑木を伐採・抜根し景観を取り戻すべきです。

建設課長 左岸は生き物広場、ホテル広場、右岸は、いも煮広場、大締切堤防がある歴史広場というコンセプトで整備されましたが、ジャングル化している現状です。基本的には河川敷の支障木や雑木の処理については、河川管理者である山形県が第一にすべきこととです。右岸トイレのあるいも煮広場は長井市の管理施設であり、委託等により管理をお願いします。県としては、野川の荒れた現状を問題視しており、次年度以降5年間で整備する方針と聞いています。

一般質問に対する 答弁のその後について

内容邦彦委員 長井市地域福祉計画や老人保健福祉計画の進捗状況がわかるよう、審議会や運営会議の議事録は公開していますか。

厚生課長 計画については公開していますが、議事録は遅れており、早々に公開を予定しております。

委員 レインボープランコンポストセンターの生ごみ収集量の減少について、協議会を開き対応することとしたが、対策は行ったのですか。

農林課長 運営全体について協議予定でしたが、庁内関係各課とレインボープラン推進協議会で、その問題に限定して至急対応したいと思っています。

委員 コンポスト運転業務委託料が、昨年と比較し6.4%上昇しています。契約に関して、委託料に職員の定期昇給を含むことが理解できません。

農林課長 職員を雇用しながら限られた委託料で業務を引き受けていただいた経過があるため、受託者の意見を聞きながら委託料を算定しています。ご理解をお願いします。

入札参加業者の 格付けについて

浅野敏明委員 入札参加資格

のある業者は、経営事項審査の総合評価値のみで格付けされてきましたが、社会貢献なども加点の対象にすべきだと思いますがどうですか。

副市長 公平性と透明性を確保し、地域貢献などの加点を導入する方向で検討します。

委員 平成22年度から制度化された協働のまちづくり支援事業の評価と課題を伺います。

建設課長 維持修繕費の節減と地域の要望に早急対応が可能になった反面、申請が多くなることや、限度額により複数年の事業になる場合があります。

委員 水路や側溝整備の場合、コンクリート製品など材料費がかさむため、10年以上に渡る支援事業もあるので、短期に完成できるような事業費配分や規模の大きい事業は、市直轄事業とすべきだと思いますがどうですか。

市長 支援事業の見直しや特例枠などを設け、長くとも3年から5年で区切りにするよう検討していきます。

予算**特別委員会****総括質疑****子育て支援施設を
早期実現すべき**

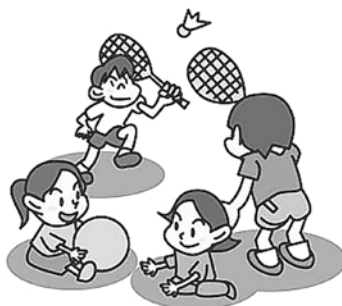
五十嵐智洋委員 天童市にある「げんキッズ」のような施設が必要です。市は、子育て支援を中心に、高齢者も利用できる複合型施設の着工を、平成31年を目指すとしています。が、構想を伺います。

市長 屋内で雨の日も冬でも遊ぶことが可能で、多機能型図書館もある施設を国の補助事業を活用して考えています。二期計画は、若者、高齢者の運動施設など、市民の意見をお聞きし検討します。子育て包括支援センターや、さまざまな商業機能も兼ね備えれば、市外からも多く人が訪れ賑わうと思います。

委員 子育て支援施設は、20億円程度の予算で立派なものが建設でき、国の補助金も見

込めます。市長の遠大な構想には期待しますが、子育て支援施設に特化して早期の実現を図るべきです。

市長 若者から高齢者までの運動施設等は次の段階としたいと思いますので、まずは子育て応援施設に取り組みたいと考えています。

**観光交流センターの
運用について**

宇津木正紀委員 観光交流センターの赤字額が圧縮された場合、指定管理料をどのように対応していくのですか。

市長 物産館も菜なポートの部分で収益を上げて、赤字部分の穴埋めをするということが求められていると思いますので、今後検討します。

委員 観光交流センターの開館時間は午前9時から6時ですが、その決め方はどのようなものですか。

産業参事 近隣の道の駅を調査して、また、菜なポートの現在の開館時間と同じように設定しました。

委員 観光交流センターの市内の非営利利用は無料ですが、市内の公共施設との利用料金との均衡がとれますか。

産業参事 施設の設置目的は、特産物の紹介、地域情報発信による観光交流の促進、市の産業振興、中心市街地の活性化です。まちづくり紹介コーナーや中庭広場は、目的に合う事業を行う市内の非営利の個人または団体は、使用料を無料にしています。



平成 29 年 4 月にオープン予定の観光交流センター



はなその保育園に整備される
病児保育

**安心して利用できる
病児保育施設に**

鈴木富美子委員 病児保育施設の運営については、委託事業とお聞きしていますが、運営費については国の補助はあるのですか。あるとしたらその内容をお聞きます。

子育て推進課長 国からの運営補助は一施設あたり年額241万7千円に加えて、年間延べ利用児童数により加算分があります。市としては、事業に係る経費が国の補助額を超えた場合の差額について補填したいと考えています。

委員 職員や病児以外の保護者の出入りに対しての施設の防疫体制はどうですか。

厚生参事 感染症・慢性疾病

等は医師の許可を得た上で児童が利用することが大前提ですが、消毒液の位置はもちろんのこと、わかりやすい表示や動線の確保、二階の出入りの際のマスク着用等、二階を利用するすべてを対象にした感染マニュアルを作る予定です。出入口も西側の外階段と

**生涯活躍のまち・ながい
形成について**

内谷邦彦委員 日本版CCR C(高齢者健康コミュニティ)での、首都圏からの移住について、移住者への住宅は、サービスつき高齢者向け住宅で検討しているのか、そうでなければ介護保険や医療保険の住所特例が受けられなくありませんがどうですか。

厚生参事 高齢者サービスつき住宅も重要ですが、運営主体をどうするかが大きなポイントと思っています。

委員 住所特例が使えないと、移住者の介護関係の費用負担は、長井市が持つことと

なりますがいかがですか。

厚生参事 住所地特例を使える施設の方がいい条件だと思いますので、給付なり負担関係等住所地特例の話を含めながらやっていきたいと思っています。

委員 単独自治体では費用負担や運用面で限界があり、他市町と共同事業とする考えはないですか。

市長 産業振興であれば他市町と共同事業が必要ですが、本事業は長井市単独で頑張っていくものと考えています。

600万円の市長車購入は再検討を

今泉春江委員 市長車購入の提案理由と価格、車種はどのように決定されたのですか。

総合政策課長 市役所の公用車が激減しており、そのため来客時の対応などに苦慮しています。現在の市長車は8年目で長距離の走行に支障をきたすようになっており、新しい市長車を購入し、現在の市長車を公用車として使用したいと考えています。価格や仕

様は現在の市長車と同等のもので、県内13市や置賜の町長車も同程度のものが多く、比較しても妥当かつ適切と考えます。

委員 今市民の生活は大変厳しく、市長車の600万円は市民感情として適切だと思いますか。現在の市長車はまだ使用できます。このたびの予算はふらり体育館などの雨漏りの改修などの緊急のものに充てていただき、市長車は次年度の当初予算で再検討してはどうですか。

市長 財源の見込みもあり、市長車購入のご理解をお願いしたいと思っています。

子育て応援施設整備事業の進め方は

小関秀一委員 子育て応援施設整備事業の委託料が補正で計上されていますが、その委託業務の内容を伺います。

子育て推進課長 この事業は、国土交通省所管の補助制度を活用し、平成30年度の採択に向け準備を進めますが、今回

の補正は、基本構想策定支援業務をコンサルタント会社に委託し、また、基本構想図作成と概算工事費等の積算などをお願いするものです。

委員 基本構想図作成業務委託の期限はいつまでですか。

子育て推進課長 今年度末を期限として委託する予定です。

委員 この事業には用地購入費用も含まれますか。

市長 50%の補助事業で、用地も購入予定です。

委員 今回、移転したすみれ学園に隣接した公園の壊れたフェンス撤去費用だけが補正に計上されていますが、設置の検討も必要と思います。

子育て推進課長 除雪等での破損箇所を今回撤去し、設置工事は29年度当初予算に計上したいと考えています。



清水児童公園の壊れたフェンス

■予算特別委員会に付託された主な一般会計補正予算の主な事業

○補正予算第5号

- ・地域おこし協力隊推進事業 426 万円
(Baby Box 関連デザイン委託料、隊員の定住起業支援の費用)
- ・地方創生推進事業 189 万円
(山形県若者定着奨学金返還支援事業の負担金)
- ・子育て応援施設整備事業 250 万円
(基本構想策定のための構想図作成業務等を委託)
- ・病児保育事業費補助金 1,824 万円
(はなぞの保育園内に病児保育施設を整備するための補助金)
- ・予防接種事業 260 万円
(医療機関に委託する予防接種にB型肝炎ワクチンを追加)
- ・産地パワーアップ事業 2,560 万円
(農業機械や生産資材の導入に対する補助金)

- ・団体営農村地域防災減災事業 238 万円
(草岡仁府ため池撤去等のための測量委託料)
- ・各地区公民館施設管理事業 513 万円
(空調設備や洋式トイレ設備の工事費等)
- ・その他体育施設管理運営事業 1,024 万円
(パークゴルフ場へのトイレ設置工事)

○補正予算第6号 〔地方創生推進交付金事業〕

- ・新規就農・移住定住支援事業 178 万円
(新規就農者を首都圏から募集し移住定住を図る事業)
- ・観光地域づくりプラットフォーム支援事業 605 万円
(食の地域資源のデータベース化等の事業)

常任委員会活動報告

厚生常任委員会行政視察

平成28年7月13日～15日

北海道江別市、美唄市、洞爺湖町

2年半で23万人が利用
子育てひろば

江別市

日本一の間口除雪

美唄市

人口減少・少子化対策として、子育て世代へのアンケートを実施。「天候に左右されず安心して遊べ、冬でも思いきり体を動かせる場」の要望が多くありました。利便性のよい商業施設の二階に子育てひろば「ぽこあぽこ」を開設しました。開館時間は午前9時30分から午後5時30分。遊具の保守点検での休館以外は、ほぼ年中無休。開設2年半で親子での利用者数は、市内が約12万人、市外が約11万人、計約23万人。定住人口の増など活性化の一助となっています。

高齢者や障がい者が道路除雪後、玄関前に置かれた雪の処理の苦勞を改善するために実施。70歳以上の世帯が対象で、道路除雪のたびに間口除雪が出動。玄関前の約2・7メートルの幅で、172世帯を除雪しています。利用料金は、①生活保護世帯は無料 ②所得が80万円以下の人だけで市民税非課税世帯は1万円 ③②以外の市民税非課税世帯は1万2千円 ④市民税課税世帯は2万4千円。利用料金の満足度が、89%の日本一の間口除雪の市です。

安心して暮らせる
総合老人福祉施設

洞爺湖町

「ふる里の丘総合福祉館」は、有珠山の噴火のため、旧施設が使用できず、噴火や津波の被害がない現在の場所に移転。養護老人ホームと特別養護老人ホーム、ケアハウスが合築した総合福祉施設です。介護が必要になっても、住み慣れた施設で安心して暮らせる利点があります。



江別市の子育てひろば「ぽこ あ ぽこ」

■市内現地視察の状況

常任委員会では、議案の審査にあたって資料をもとに説明を受けるほか、必要に応じて実際に施設や現地を確認しています。

また、補正予算等による事業の実施状況や課題のある施設の現状も視察しています。関係者にご協力いただき、お話も伺っています。

○文教常任委員会 9月13日



- ・長井、致芳、伊佐沢小学校のエアコン設置工事の状況
- ・学校給食共同調理場の状況
- ・パークゴルフ場トイレの設置予定地
- ・生涯学習プラザ運動公園の芝の生育状況

○厚生常任委員会 9月14日

- ・すみれ学園の移転先の状況（旧清水保育園）
- ・病児保育の実施予定施設（はなぞの保育園2階）



○産業・建設常任委員会 9月15日



- ・新たに認定する市道路線（国道287号線長井南バイパス建設に伴う4路線）
- ・廃止する市道路線（国道287号線長井南バイパス建設に伴う3路線）

人事

教育委員会委員の
任命に同意

加藤 弘二さん
（清水町）再任

平 とも子さん
（森）再任

3名の市政功労者の
表彰に同意

木村 忠吉さん
（草 岡）

田中 勝男さん
（五十川）

長谷部 宇一さん
（片田町）



請願

採択

「福島原発事故避難者への住宅無償提供」の継続を求める意見書提出方請願

（請願者 福島原発被災者フォーラム山形・福島代表 武田 徹氏ほか）

議会傍聴に お越しく下さい

議員と当局の積極的な議論をぜひ議場で聞近にご覧ください。

質問内容などを市のホームページで事前にお知らせしています。インターネットによる議会中継も実施しています。

意見書

「福島原発事故避難者への住宅無償提供」の継続を求める意見書

福島原発事故避難者が負担なく継続して居住できるよう、次のとおり求めます。

・平成29年4月以降についても、福島原発事故避難者への住宅支援を継続すること。

・住宅支援については、自主避難者を含め避難当事者の意見を十分に聴く機会を設けること。

提出先 衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／復興大臣／福島県知事

12月定例会の予定

11・16(水)全員協議会

17(木)総務常任委員会協議会

18(金)文教常任委員会協議会

21(月)厚生常任委員会協議会

22(火)産業・建設常任委員会協議会

24(木)常任委員長会

25(金)告示

30(水)議会運営委員会

12・2(金)本会議（開会）

7(水)本会議（一般質問）

8(木)本会議（一般質問）

9(金)本会議（一般質問）

12(月)総務常任委員会

13(火)文教常任委員会

14(水)厚生常任委員会

15(木)産業・建設常任委員会

19(月)予算特別委員会

20(火)予算特別委員会

22(木)本会議（表決・閉会）

◎全ての会議を傍聴できます。

◎請願の提出期限は、11月16日（水）の予定です。正式な日程は、市議会のホームページなどでご確認ください。

編集後記

日本列島は地球温暖化による災害が多発しています。いつ、どこで災害が起きるか分からない近年の状況です。災害に備え、安全安心な市民生活が送れることを願っています。

編集委員が新たになってから1年が過ぎました。一回りしてようやく編集のコツが分かってきました。これから写真やイラスト、グラフをできるだけ多く使い、市民のみなさんから手に取ってもらい、分かりやすい議会だよりを作っていきたいと思っています。（M・U）

ながい市議会だより 編集特別委員会



◎梅津 善之 平 進介
今泉 春江 ○宇津木正紀
渡部 秀樹 内容 邦彦
（◎委員長 ○副委員長）

お知らせ

「市民と議員の意見交換会」を開催します

長井市議会では地方分権の時代に地方議会が担っている役割（団体意思の決定機能・執行機関の監視機能など）を十分に果たしていくため、議会改革を推進しています。

その改革の一環として、4年前から、市民参加と情報公開を積極的に行うことを目的に、「市民と議会との意見交換会」を実施しています。

意見交換会では、議会活動や定例会の内容を広く市民の皆さんにお知らせするとともに、ご意見やご提言を直接お伺いして、議会審議や議会運営に生かしていきたいと考えています。

今回は、以下の日程・会場で意見交換会を開催しますので、多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

◇内容

- 1. 議会報告
6月、9月定例会の焦点、平成27年度決算の概要
- 2. 意見交換
市政、議会運営、地区の課題など

日 時	会 場	対象地区	担当班	時 間
11月8日(火)	西根地区公民館	西根地区	1班	午後7時から 8時30分まで
	豊田地区公民館	豊田地区	2班	
11月9日(水)	致芳地区公民館	致芳地区	1班	
11月10日(木)	平野地区公民館	平野地区	2班	
	伊佐沢地区公民館	伊佐沢地区	3班	
11月11日(金)	交流センターふらり (旧勤労センター)	中央地区	3班	

対象地区以外の会場でも参加できます。都合の良い日にお出ください。
なお、下記のとおり3班体制で実施しますので、各地区の地元議員がお伺いするとは限りません。

- ★1班（致芳地区、西根地区）
◎安部 隆、宇津木正紀、鈴木富美子、小関秀一、五十嵐智洋
 - ★2班（平野地区、豊田地区）
◎蒲生光男、浅野敏明、金子豊美、渡部秀樹、赤間泰広
 - ★3班（中央地区、伊佐沢地区）
◎町田義昭、内谷邦彦、平 進介、今泉春江、梅津善之
- ※◎は班代表者、議長（渋谷佐輔）は全ての班を統括する。

上段でご案内している「地区別意見交換会」のほかに、関係する市民団体等と個別に「分野別意見交換会」を開催し、ご意見を伺っています。

分野別意見交換会は、政策立案・政策提言等に関する特定の案件、テーマについての意見交換会です。

教育、文化、保健、福祉、産業等の分野ごとに行いますので、常任委員会等の必要に応じて開催するほか、市民団体等の要請に応じて随時開催します。

意見交換会開催のご希望がありましたら、議会事務局までご連絡ください。

※問い合わせ 議会事務局 TEL (87) 0812

意見交換会を開催しませんか